

事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人オハナプロジェクト

事業名	産前産後の親子の健全育成事業																	
助成事業の種類	SDG 推進事業 平和分野																	
1. 事業の目的	当事業では専門職と地域ボランティアが連携し、乳幼児と保護者が安心、安全に過ごせる居場所づくりを通して、乳幼児が健全に育成できる生活環境の整備に向けた働きかけ（母子健康相談や育児相談等）を行うとともに虐待の早期発見と予防を目的した。																	
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	行政が行う産後ケア事業は相談事業とアウトリーチの 2 種のみで留まっており、産後期に母親が心身を休めたり生活の些細な困りごとをケアできる事業がないため、産後ケア事業、集団型の事業実施概要に則り産後期の「生活」へのケアというアプローチを実施した。																	
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7 月</td> <td rowspan="3">赤い羽根助成金の対象期間</td> </tr> <tr> <td>8 月</td> </tr> <tr> <td>9 月</td> </tr> <tr> <td>10 月</td> <td>産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催</td> </tr> <tr> <td>11 月</td> <td>産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催</td> </tr> <tr> <td>12 月</td> <td>開催なし</td> </tr> <tr> <td>1 月</td> <td>産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催</td> </tr> <tr> <td>2 月</td> <td>産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>○広報実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ配布（新座市保健センター、市内児童館、市内地域子育て支援拠点、市内小児科等） ・ネット媒体（HP、Instagram、Facebook ページ、公式 LINE） 		時期	内容	7 月	赤い羽根助成金の対象期間	8 月	9 月	10 月	産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催	11 月	産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催	12 月	開催なし	1 月	産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催	2 月	産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催
時期	内容																	
7 月	赤い羽根助成金の対象期間																	
8 月																		
9 月																		
10 月	産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催																	
11 月	産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催																	
12 月	開催なし																	
1 月	産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催																	
2 月	産後ケアDAY 1 回開催 親子のひろばクラブ 1 回開催																	

<p>4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<p>・産後ケアDAY 産後ケアDAYに参加したご家族が当団体以外の産後ケア事業に興味を持ち、行政サービスや民間サービスを調べるきっかけとなり、行政サービスの使い方について助産師より具体的な助言を気軽に受けられる場を設けることが出来た。 また、初めての出産、育児で夫婦共に不安が強くなっている家庭に対し助産師によるヒアリングや助言を行い、他の家庭の人達とおしゃべりしたり、共に食事を取ったりする中で、不安の原因が明確になったり、インターネット上の情報や親戚による情報がすべて正しいとは限らない、と心が軽くなった様子が見られた。</p> <p>・親子のひろば これまでは母子1対1での参加が主だったが、双子家庭の参加があり情報の浸透を感じた。 日々の育児生活がワンオペの緊張感あふれるものであるため、ひと時でも保護者以外の大人の目がある環境で過ごすことで「やっぱり我が子は可愛い、産んでよかった」と思っていただけの機会を作り出すことが出来た。</p>
<p>5. 費用面での工夫</p>	<p>開催レポートに写真を多く掲載し、文面もできるだけ活動内容の具体的な報告を掲載するよう努めることで、活動への理解を深め、地域の個人による寄附を獲得することができたと感じています。</p>
<p>6. 地域社会への還元について</p>	<p>少子化が深刻な社会課題となる中で、出産、育児の当事者が「出産や育児は素晴らしい」と感じられる地域づくりに貢献できたと感じています。</p>
<p>7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか</p>	<p>新座市に限らず、産後ケア事業の充実を計りたい県内地域での産後ケア事業の受託を目指します。</p>

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人オハナプロジェクト

1 収入の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
県助成希望額	226,000	226,000	0	
自己資金	20,000	28,403	8,403	個人匿名のよるご寄付
事業実施による収入等	9,000	5,700	-3,300	
その他	0	0	0	
合計	255,000	260,103	5,103	

2 支出の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
会場費	150,000	120,000	-30,000	12月の開催見送りのため
通信運搬費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
消耗品費	25,000	40,103	15,103	
備品費	0	0	0	
委託費	0	0	0	
謝金	20,000	20,000	0	
人件費	60,000	80,000	20,000	産後ケアDAY開催増加のため
その他	0	0	0	
合計	255,000	260,103	5,103	

※会場費を助成対象期間前にやむを得ず支払った場合は、備考欄に「助成対象期間前に支出」と記載する。